

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121122041	ファッション造形学 Clothing Construction	平岩暁子	○	専門	2	選択	2後期
科目の概要							
衣服は人体に最も近い距離にあり、人が着装することにより完成する。このため、衣服の形的美しさは複雑な人体の形状に衣服をどのように合わせるかによって決まる。この科目では人体形状の特徴を知り、採寸やパターン作成の理論について理解する。和服と洋服の衣服構成法の違いや、年齢による体型の変化に合わせた衣服の条件についても理解する。本科目の学修は、人々の日常生活を衣の面から支援できるようになるための科目に位置付けられる。担当教員は公立の高校講師を務め、実習を含む家庭科教育の経験がある。被服製作の実習で培った経験を生かし授業を行う。							
学修内容				到達目標			
① 人体の形状についての特徴や年齢差、男女差、動作による変化を知る。 ② 衣服構成法の種類、洋服パターン作成の理論について知る。 ③ 和服の構成法、洋服との違いを知る。 ④ 子供のための衣服について考察する。				① 体型の特徴について年齢差・男女差・動作による変化を知り、説明することができる。 ② 平面構成法、立体構成法およびパターン作成の理論について説明することができる。 ③ 和服の特徴、洋服との違いを知り正確に説明することができる。 ④ 子供のための安全な衣服デザインを考え提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題を理解するのに必要な知識について、配布プリントを読み、文献等を調べて、自分で学修ができる。					
	働きかけ力						
	実行力	必要な学修の内容や方法を自分で考えて、目標のレベルまで到達できる。					
考え抜く力	課題発見力	プリントや文献等を読み、情報を整理して衣服に関する課題を発見することができる。					
	計画力						
	創造力	衣服の形についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。					
チームで働く力	発信力	衣服の形についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。					
	傾聴力	発言者の意見を正確に理解し、自分の考えもまとめることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話を触るなどをせず、ルールを守った行動ができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『新版アパレル構成学』、高橋知子他、朝倉書店、(2018) プリントを適宜配布、google classroomにて資料提示する。 参考文献：『衣服製作の科学』、松山容子編、建帛社、(2007)							
他科目との関連、資格との関連							
「ファッション造形学」は、空間・情報デザイン科目群の衣分野の科目の一部であり、「衣生活論」「ファッション造形実習Ⅰ」「服飾文化論」で獲得した知識・技術を活用する。また「ファッション造形学」はその後に履修する「ファッション造形実習Ⅱ」「ファッショントレンド」の基盤となる科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
毎回、小テストを行うので、ノートを整理し、内容を理解する。衣服の理論とデザイン、そして着心地がどう結びつくのかを考えながら講義を聞くこと。				授業で配布する資料の予備は、次週まで保管する。授業内容の小テストを次週実施するので、毎回復習しておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	各年齢段階での体型の特徴について説明することができるか。 衣服の形がどのように構成されているか説明できるか。 和服の特徴、洋服との違いを説明できるか。 子供や高齢者、障がい者のための衣服にはどのような配慮が必要か説明できる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	毎回の小テストでは、前の授業時間に扱った内容を、十分に理解できているかどうかを確認する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		レポート		20	①	✓	毎週の課題が提出されており、衣生活の中の問題点を自分なりに捉えられているかを評価する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	子供のための衣服デザインを考え、発表する。
②	✓						
③	✓						
④	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(規律性)・受講態度（遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど）は減点する。 (主体性)・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 (実行力)・目標まで到達しようという努力の姿勢を小テストで評価する。 (課題発見力)・衣服に関する課題を発見できているか、授業態度で確認する。 (創造力)・自分なりの方法を考え、実行しているか、授業態度で確認する。 (発信力)・グループディスカッションで内容を確認する。 (傾聴力)・授業態度やグループディスカッション、発表の聴講態度などで確認する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論について十分に理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴を説明できる。子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についても正確に知っており、衣服デザインの提案ができる。※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)評価をする</p>	<p>体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論についておおそ理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴、子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についても知っているが正確でなく、衣服デザインの目的が少し外れている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	衣服の起源、衣服の機能（保健衛生的機能と社会的機能）について知る	講義	衣服の起源、機能の内容をまとめることができる。	(予習) シラバスを読み、内容を把握してくる (復習) 衣服の機能の復習	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
2	着心地について考える。気候と衣服の形、素材と形、衣服気候について理解する。	小テスト・課題の解説 講義	衣服の着心地に関わる因子が分かる	(予習) 小テストの準備 (復習) 衣服の着心地に関わる因子をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	平面構成法・立体構成法の特徴について、民族衣装を例にして考える。	小テスト・課題の解説 講義	平面構成と立体構成の差を説明できる	(予習) 小テストの準備 (復習) 平面構成法・立体構成法の差をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	平面構成衣服である和服の特徴を知り、1/10のミニ着物を紙で制作して、洋服との構成法の違いを確認する。 「きもの文化の伝承と発信のための教育プログラム」 http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/yukatatoha.html	小テスト・課題の解説 講義 1/10ミニ着物作り	1/10のミニ着物を完成し、和服の各部位の名称が分かる	(予習) 小テストの準備 (復習) 和服と洋服の形の違いを復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
5	和服の裁断法、縫い方の特徴などを知る。和服がその形状からリサイクルに向いていることについて考える。	小テスト・課題の解説 講義 ディスカッション	和服の裁断法、縫い方の特徴が分かる	(予習) 和服のリサイクルに関する記事を調べてくる。小テストの準備。 (復習) 和服の裁断法、縫い方の特徴を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	骨格、関節、筋肉などで構成される人体の構造を知る。人体計測の方法について知る。	小テスト・課題の解説 講義	人体の構造、人体の計測方法が分かる。	(予) 小テストの準備 (復) 人体構造、計測方法のまとめ。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
7	性差と年齢による変化に着目して、体形の変化について考える。男女、成長期、中年年齢期、高年齢期の体型変化、姿勢の変化。	小テスト・課題の解説 講義 グループディスカッション	男女の体型、年齢による体形変化について分かる。	(予) 小テストの準備 (復) 男女、年齢による体型変化をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	体型の計測と計測値の活用 既製品のサイズ表記について	小テスト・課題の解説 講義	計測値の活用目的と、既製品のサイズ表記について分かる	(予) 持っている服のサイズ表記を調べてくる。小テストの準備 (復) 計測法とサイズ表記のまとめをする	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	立体構成衣服の基本形である身頃の原型の特徴(形、ゆとり量)について理解する。身頃原型の製図。	小テスト・課題の解説 講義 google classroomにて 原型製図スライド提示	身頃原型が何であり、 どう活用するものなのか 説明できる	(予習) 身頃原型の製 図を進める (復習) 身頃原型の特 徴と製図方法をまとめ る	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
10	身頃原型の製図を完成 し、胸ぐせダーツの展 開をする	課題の解説 講義 google classroomにて 原型製図スライド提示	身頃原型を書くことが できる。	(予習) 小テストの準 備 (復習) 胸ぐせダーツ の展開方法をまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
11	袖原型の特徴と、展開 によって袖のパターン がどのように変化する か考える。	小テスト・課題の解説 講義	袖の型紙の仕組みを説 明できる。	(予習) 持っている服 のシルエットを調べて くる。小テストの準備 (復習) 袖山の高さ と袖幅・袖下の関係 を復習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
12	デザイン造形について 考える。シルエット、 ディテールについて。 スカートやパンツ の構成原理について学 ぶ。	小テスト・課題の解説 講義	デザイン造形の要素を 説明できる。	(予習) 持っている服 のディテールを調べ てくる。小テストの準 備 (復習) デザイン造形 の要素を理解し、ワン ピースのデザインを考 える	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
13	既製品の生産システム について知る。品質管 理について考える。	小テスト・課題の解説 講義	既製品の生産システム について分かる。	(予習) 小テストの準 備 (復習) 身の回りのア パレル製品で品質に問 題のあった物がなかつ たかまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
14	子供のための衣服の条件を考 える。子供服のデザインを考 える。 「経済産業省 子ども服の安 全基準、知っていますか? JIS L412」 https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/keihatsu/kodomofuku/index.html	小テスト・課題の解説 講義	安全な子供服の条件を まとめることができる	(予習) 小テストの準 備 (復習) 子供服のデザ インを考える。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	子供服のデザインを発 表する。	発表 ディスカッション	子供服のデザインを提 案できる。	(予習) 子供服のデザ インを完成してくる。 (復習) 全体の振り返 りと考察をする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力